



INSTRUCTION MANUAL / 取扱説明書

ロンジンをとお選びいただきましてありがとうございます。ロンジンウォッチ、卓越した技術力とタイムレスなエレガンスが認められ、さらにブランドの長年のノウハウが息づいています。

La Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.は、保証書に定められた条件に基づき、ご購入日より**ロンジン®腕時計の保証期間を2年間、2021年1月1日以降にご購入いただいた機械式時計の保証期間を5年間**とします。全ての時計の**ブレスレットには、素材または製造上の欠陥について2年間の国際保証が適用されます**。ロンジンの国際保証は、ご購入いただいたロンジンウォッチのお届け時に存在している欠陥パーツおよび製造上の欠陥を保証します。ロンジンの正規販売店が保証書に日付を入れ、必要箇所が完全に記入された場合のみ保証が有効になります。保証期間中に有効な保証書をご提示いただくと、保証対象のすべての不具合の修理を無償で受けていただくことができます。お持ちのロンジンウォッチの通常の使用状態が修理によって修復されない場合、Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.は、同一のロンジンウォッチまたは類似の特性を持つものと交換することをお約束します。交換した時計の保証は、交換した前の時計の保証期間が終了した時点で終了となります。

この保証において以下は対象外となります:

- 通常の消耗と経年変化 (例: ケースおよび/またはクリスタルの傷、ケース、革ストラップ、布製ストラップ、ラバーストラップ、その他非金属製ストラップ、PVDコーティングの変色、素材の変質、ブロンズの着色など)。
- 不適切な使用、乱用、不注意、過失、事故 (打撃、へこみ、潰れ、ガラス破損、ブレスレット

交換時にできた傷など)、取扱説明書に従わないことによる時計の損傷。

- ロンジンウォッチの使用、不具合、欠陥、精度の欠如に起因するいかなる種類の間接的または結果的な損害。
- ロンジンから認定を受けていない人がロンジンウォッチに手を加えた場合 (例えば、電池交換、サービスや修理) や、Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.のコントロールの及ばない範囲で元の状態が変更されていた場合。

Compagnie des Montres Longinesに対する他のすべての請求 (例えば本保証書に規定されているもの以外の損害賠償など) は、購入者が製造者に対して主張できる法的な権利を除き、明確に除外されています。

このメーカーの保証書は:

- 販売者が提供するあらゆる保証とは無関係であり、販売者が単独で責任を負います。
- 販売者に対する買い手の権利、または買い手が販売者に対して有するその他の強制的な権利に影響を与えません。

Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A. のカスタマーサービス部門は、ロンジンウォッチに最適なメンテナンスをお約束します。時計のお手入れが必要な場合は、ロンジン正規販売店または当社ウェブサイト www.longines.com に掲載されているロンジン正規サービスセンターにお任せください。Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A. の基準に沿ったサービスを保証いたします。

* Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A., CH-2610 Saint-Imier, Suisse. ロンジン®は登録商標です。

ロンジンウォッチをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ロンジンウォッチを初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いになるようお願いいたします。お手持ちの時計の詳細情報や複雑機構が搭載されている時計の情報につきまして、当社のウェブサイト www.longines.com/instruction-manual にログインするか、QRコードをスキャンいただくことで、詳細情報やチュートリアルにアクセスすることができます。



防水性に関する注意点

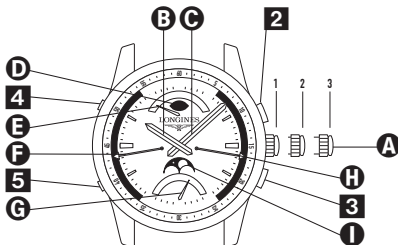
時計の防水性はパッキンの乾燥による劣化や、誤ってリュースに衝撃を与えた場合に影響を受けることがあります。時計の防水性を維持するために、海水に触れた後は真水で洗い流し、年に一度はロンジンの正規サービスセンターで時計の防水性を点検していただくことをお勧めします。絶対に時計をご自身で開けないようお願いいたします。

重要事項！ 水中では時刻設定用のリュースおよびプッシュボタンを絶対に作動させないでください。また、水に浸かる前にリュースとプッシュボタンが完全に押し込まれ、またはねじ込まれていることをご確認ください。

国際保証書	2
防水性能	3
時刻の設定	4
ロンジン保証カード	5

ケースバックの表示	意味*
なし	非防水仕様
3 bar	3 気圧 (30 m) までの防水仕様*
5 bar	5 気圧 (50 m) までの防水仕様*
10 bar	10 気圧 (100 m) までの防水仕様*
30 bar	30 気圧 (300 m) までの防水仕様*

*メートル単位の防水深度は ISO 22810 に基づいて適用される超過圧力と同程度のものとなります。

**A** リューズ**B** 時針**C** 分針**D** 24 時間表示**E** 曜日表示針**F** 24 時間針（セカンド タイムゾーンの 24 時間）**G** レトログラード式スモールセカンド**H** 日付表示針**I** ムーンフェイズ**2** 曜日用コレクター**3** 日付（カレンダー）用コレクター**4** 24 時間針用コレクター**5** ムーンフェイズ用コレクター

時、分、レトログラード式スモールセカンド、曜日、日付、セカンド タイムゾーンの時刻、ムーンフェイズ、デイ/ナイト表示を備えています。

ポジション **2** または **3** に引き出したリューズで時、分、秒を修正することができ、それに連動して曜日、日付、セカンド タイムゾーンの時刻が調整されます。

メカニズムを損傷させるおそれがあるため、午後 8 時から午前 3 時の間は、日付の修正やコレクター 2 および 3 の操作を行わないでください。

リューズをポジション 3 に引き出すと、秒針が停止します。この操作により、曜日表示針、日付表示針、セカンド タイムゾーンの 24 時間針がレトログラード セクションの端に配置されます。リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針が正午にくるようにします (24 時間表示の太陽を完全に見える状態にする必要があります)。リューズをポジション 1 に押し込みます。

時刻合わせおよび秒針の停止

スモールセコンドの針 (6 時位置) が 0 を指した時点で、リューズをポジション 3 に引き出します。この操作により、曜日表示針、日付表示針、セカンド タイムゾーンの 24 時間針がレトログラード セクションの端に配置されます。

針が希望の時刻を指すまで、リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。時刻を合わせたら、リューズをポジション 1 に押し込みます。

この修正はセカンド タイムゾーンの時刻、時計が 0 時を通過した後の曜日と日付にも影響し、リューズがポジション 1 に押し戻されたときに有効になります。

機械式時計の場合、着用していないければ、手で約 30 回巻き上げる必要があります。

時刻のクイック修正

リューズをポジション 2 に引き出します。この操作により、曜日表示針、日付表示針、セカンド タ

イムゾーンの 24 時間針がレトログラード セクションの端に配置されます。

リューズを時計回りまたは反時計回りに速く回すと、分・秒の表示に影響を与えることなく、時計を 1 時間単位で連続して進めたり戻したりすることができます。

午前、午後に間違わないように希望の時刻に調整するには、24 時間表示を参照してください。

曜日の修正

曜日を修正するには、コレクター用ツールを使用して、2 時位置のコレクター 2 を押します。

日付 (カレンダー) の修正

日付を修正するには、コレクター用ツールを使用して、4 時位置のコレクター 3 を押します。

セカンド タイムゾーンの時刻 (24 時間針) の修正

セカンド タイムゾーンの時刻を修正するには、コレクター 4 を押します。これにより、分・秒の表示に影響を与えることなく、時刻を 1 時間単位で連続して進めることができます。

24 時間表示: セカンド タイムゾーン機能を使用したくない場合は、セカンド タイムゾーンの時刻表示針を現地時間 (24 時間制) と同期させることで、24 時間表示に変えることができます。

午後 3 時から午後 6 時の間は、その機能が有効ではないため、ムーンフェイズの修正は行わないでください。

ムーンフェイズの修正

コレクター **3** を押してムーンフェイズ表示窓の中央に満月を表示させます。
 前回の満月の日付を確認し、その日から経過した日数分コレクターを押します。
 時刻のクイック修正を行うと、24 時間表示との同期が変更されることに注意してください。

セカンド タイムゾーンの時刻 / 24 時間表示の同期

例: スイスの現地時間で午前 8 時で、日本との時差が + 8 時間であるとわかっている場合。

2 種類の方法があります。

バリエーション A

コレクター **4** を使用してセカンド タイムゾーンの時刻を現地時間と同期させます。
 時計の表示はスイスの日付と現地時間のままです。コレクター **4** を押し、24 時間針が 16 の数字 (日本の時刻) を指すようにセカンド タイムゾーンの時刻を修正します。

バリエーション B

日本で旅をし、時計に日本の日付と現地時間を表示させる場合

コレクター **4** を使用してセカンド タイムゾーンの時刻を現地時間と同期させます。

リューズをポジション **2** に引き出します。この操作により、曜日表示針、日付表示針、セカンド タイムゾーンの 24 時間針がレトログラードセクションの端に配置されます。

時針が 4 の数字 (日本時間の 16 時) を指すようにリューズを反時計回りに回して時刻を修正します。

次いでリューズをポジション **1** に押し込みます。セカンド タイムゾーンの時刻表示は 8 時 (スイス時間) のままになります。

バリエーション A



バリエーション B



時計の保証書にありますがQRコードをスマートフォンのカメラでスキャンすると、ロンジンのホームページにアクセスできます。33カ国語で利用可能なお使いの時計の特定の取扱説明書、メンテナンスアドバイス、保証条件などが記載されています。



これらの情報は、この取扱説明書に記載されているQRコードまたはwww.longines.com/instruction-manualと入力することでアクセスできます。



www.longines.com/instruction-manual